

おおふなと 社協だより

2020年2月号

ふれあいネットワーク



今月の表紙

千葉 勝太郎さん・エツ子さん
恭平さん・富士子さん
拓斗くん・逢里ちゃん
(14歳) (11歳)

【特集】地域で育む福祉教育推進モデル事業 —吉浜地区での3年間の取組みー	2~3
おでかけひろば	4
食でつながる住民交流「コミュニティ食堂」	4
たすけあい高齢者宅電気設備点検・清掃活動	5
リズム体操	5
お知らせ	6~7
輝き人	8

地域で育む福祉教育推進モデル事業

—吉浜地区での3年間の取組み—



○地域で育む 福祉教育推進モデル事業

大船渡市社会福祉協議会では、平成28年度から3年間、岩手県社会福祉協議会よりモデル指定を受け、三陸町吉浜地区において「地域で育む福祉教育推進モデル事業」を実施してきました。

吉浜小学校、吉浜中学校、吉浜地区助け合い協議会とともに事業計画を立案し、地域住民のみなさんを巻き込んだ様々な事業に取り組みました。子どもから高齢者まで、自分の住んでいる地域についてあらためて見つめることができ、地域福祉を地域住民で推進していくための一助となりました。

今後も継続する事業があることから、地域の中で福祉課題を解決していくための体制が、より強化されることが期待されます。

○福祉教育とは

「福祉教育」とは、児童・生徒が福祉の学びを深めるものだけではなく、住民一人ひとりが地域課題を認識し、その解決に向け協働していく「地域共生社会」の実現を目指した取り組みでもあります。

主な取り組み内容

- 住民支えあいマップ作成会
- 吉浜海岸清掃
- 夏休みのラジオ体操
- 凧作り教室・凧揚げ大会・交流会、ミニミニ文化祭
- 農作業・漁業体験学習
- ふるさと交流会
- 障がい者施設訪問

地域で育む福祉教育推進モデル事業の実施方法



地域を知る・触れる

吉浜小学校教務主任

田 村 雄 喜 先生



10月24日 5年生脱穀作業の様子

吉浜小学校では、米作りやさつまいも作り、祖父母交流会、収穫祭等に取り組んで参りました。地域のお年寄りや保護者の方々が積極的に学校に足を運んでくださいり、一緒に汗を流して作業をしたり互いに収穫を喜び合つたりすることで、貴重な世代間交流の場となりました。児童にとって、地域に見守られ、支えられていることを実感できる機会にもなったのではと思っています。

地域の未来。 理想像を考える

吉浜中学校副校長

西 丸 威一郎 先生



全校生徒で凧作りに取り組みました

本校は、今年度で閉校するということも重なり、閉校後の地域に残せるもの、現在の中学生が大人になった時、地域で活躍できる人材になるということを念頭に置いて活動しました。

主な活動としては、シンガーソングライター・森源太さんのコンサートの企画運営、海岸清掃と海岸の看板作り、伝統行事凧揚げへの参加です。このような活動は、生徒が地域に出る機会を増やし、地域の人との距離を縮めたと思います。地域が独自に取り組んできた伝統行事とともに、子どもから大人まで一緒になって地域活動が一層発展されていくことを願っています。

世代を超えた 福祉教育の実践

吉浜地区助け合い協議会

新 沼 秀 人 事務局長
兼生活支援コーディネーター



地域住民も一緒にラジオ体操に参加しました

「ラジオ体操」は、小学校の夏休み期間中の朝活動に合わせて各地域で実施してきました。初年度は地域住民の中でも高齢者の参加も多かったのですが、次年度以降は参加者が減少。再び参加していただけるよう企画の再検討が今後の課題です。



サロン等で製作した作品が多数展示されました

2月2日（日）に実施予定の凧揚げ大会は残念ながら中止となりましたが、ミニミニ文化祭は2月1日（土）・2日（日）の2日間、交流会は2日（日）に開催し、中学校閉校記念事業として中学生の作品展示も行つたことから、多数の来場がありました。

様々な世代の人達が色々な形で交流し合える楽しいイベントになり、次年度以降も継続して開催したいと思っています。

毎週火曜日は、おおふなぽーとに集まろう！ おでかけひろば



子ども同士、親同士が仲良くなれる場所です

社会福祉協議会では、未就学の子育て家庭を対象に、子どもたちが自由に遊んだり、親同士の交流を促進することを目的に、「地域子育て支援拠点事業」を実施しています。

- 主として大船渡市Y・Sセンターで「つどいのひろば＆わいわいステーション」を開設していますが、毎週火曜日はおおふなぽーとの2階和室でも開設しています。
- 当初は移動が困難な方の利用を目的に始まりましたが、つどい
- 開催日時 毎週火曜日 午前10時～午後3時
● 開催場所 おおふなぽーと

ターザーの利用に不安がある方がはじめの一歩として利用するケースも増えてきています。

和室のすぐ傍には常設の遊具があり、和室と行き来し遊ぶ姿も見られ、毎週子どもたちの元気な声で賑わっています。遊び疲れてお昼寝が始まつても大丈夫。奥の部屋には静かな空間で眠れるよう、お昼寝スペースも用意しています。

定期的に利用している水野結菜ちゃん・友佳子さん親子は「自宅から近く、歩いて来れるので頻繁に利用しています。主人の仕事の都合で大船渡に引越してきましたが、ここに来ることで同じくらいの子どもを持つお母さんとたくさん知り合うことができました」と話してくれました。

未就学児の子育て家庭ならどなたでも利用でき、開設時間中は出入り自由です。お気軽にお越しください。



被災者生活支援事業 「ミニユーニティ食堂」



男性も調理に参加して、会場を和ませました

岩手県が主催するコミュニティ食堂が1月16日(木)に盛町の災害公営住宅みどり町アパートで開かれました。

コミュニティ食堂は、住民が集い食事を共にすることで、顔見知りとなる機会を作り、普段の住民交流を助長することを目的とするものです。大規模な公営住宅のコミュニティ構築支援の一環として、大船渡を含む県内4地域で実施されています。

当日は、普段集会所を利用している住民だけでなく、初めて

イベントに参加する人や男性の参加も多く、関係者を含めた22人が参加し、調理や食事を通して交流を深めました。

この日のメニューは「麻婆大豆根」、「ツナと水菜のレモンサラダ」、「お吸い物」の3点。どれも簡単に作ることができ、一人暮らしでも栄養を摂れるものが用意されました。調理の指導をしたNPOフォーラム21の中村恭香事務局長は、「被災地の公営住宅は高齢者が多く、栄養面が心配。身近な食材で作れるものを紹介していきたい」と話していました。

参加者の千葉俊雄さん(71)は「普段から健康に気をつけた食事を心がけているが、一人暮らしだと簡単なものが多くなってしまう。今回のように大勢で食べる時間があるとみんな喜ぶと思う。機会があればまた参加したい」と話してくれました。

今年度は3回の実施を予定しており、社会福祉協議会では今後も住民主体で開催されるよう支援していきたいと考えています。



地域と企業の力をあわせ住みよいまちへ たすけあい高齢者宅 電気設備点検・清掃活動



助け合いの気持ちで、心も照明も明るくなりました

東北電力(株)大船渡電力センター（以下、センター）と猪川地区たすけあい協議会（以下、協議会）が共催する「たすけあい高齢者宅電気設備点検・清掃活動」が、1月15日（水）に猪川町内で行われました。

センターでは「何気なく使っている電気の事故を防ぎ、安心して生活していただきたい」と、市内高齢者宅の点検を毎年実施し、社会福祉協議会が地域の活動と

連絡調整を行っています。当日は協議会のメンバーも参加し、20人で町内高齢者宅10軒の点検・清掃を実施。普段点検することのない分電盤や、たこ足配線に危険がないか確認し、手が届きにくい照明器具の清掃を行いました。

一人暮らしの菊池ミオさん（96）は「高いところの掃除は一人では難しく、娘も遠くに住んでいるので頼めない。地域の人たちに助けていただき心が温まつた」と話してくれました。協議会の田村敏夫コーディネーターは「猪川地区でも高齢者が年々増えており、住民同士で助け合える活動として実施しました。他人が家の中に入ることに不安を抱くかと心配していましたが、喜ぶ姿を見て安心しました。役員とも相談しながら、いつかは高齢者の全世帯訪問を実現してみたいですね」と今後の意気込みを話してくれました。



講師の動きを見ながら皆さん笑顔で体操していました

～和気あいあいとみんなで楽しもう～

リズム体操

毎月第1・3・5金曜日には多くの人がリズム体操に参加するためY・Sセンターに集まります。リズム体操は、懐かしの曲や、リズミカルな曲、ゆったりした心が癒される曲などに合わせながら体を動かす有酸素運動の要素が入った体操で、認知症のリスクを大きく低下させることができます。

毎回、20人以上が参加していますが、初めて参加する人もとまどいきます。次回が楽しみ」と話すのは今回初参加してくれた女性。期待できます。

「友人から勧められ、今日初めて参加しました。運動不足で体力的に大変でしたが、先生の教え方がわかりやすく楽しんでできました。次回が楽しみ」と話すのは今回初参加してくれた女性。また、今年から参加している女性は「退職して、何もする事がなく、社協だよりでこの講座（教室）を知り参加しました。人と話すことが苦手でしたが、皆さんと楽しむことで人見知りもなくなりました。体調も良くなり今後も継続して参加したいです」と話してくれました。

- 開催日時 第1・3・5金曜日
- 開催場所 大船渡市Y・Sセンター大会議室

場 所 おおふなぽーと 2階和室
※3月24日はカメリアホール

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、3月13日（金）（午前10時～正午）に開催します。

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせまでご連絡下さい。

開催日	場 所	時 間
2日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
9日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
10日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
12日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
16日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
19日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
23日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん
電話 080-8201-0200

*就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日 時 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時30分
場 所 大船渡市Y・Sセンター
内 容 卓球、スポーツ吹矢ほか
持ち物 上靴（動きやすい服装で参加してください）

*大船渡市Y・Sセンター情報

生きがい講座～ラダートレーニング～

下記の日程で、生きがい講座を開催します。ラダートレーニングとは、はしごのような形を目印にステップを踏んで、普段意識しにくい運動神経に刺激を与え、脳と体を活性化させる体操です。

日 時 3月13日(金)
午前10時30分～午前11時30分
会 場 大船渡市Y・Sセンター
持ち物 上靴、タオル、水分補給用飲料（動きやすい服装で参加してください）
定 員 25人
参加費 300円
申込方法 前日までに電話または来所で申込み

「募集」「イベント」「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報を
お届けします。

お知らせ
令和2年3月

申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

*子育て支援事業情報

子育て支援研修会 ～アンガーマネジメント研修～

日々の業務や子育てをしていくなかで、怒りの感情を適切にコントロールすることで問題解決を図る「アンガーマネジメント」について学びます。

日 時 2月29日（土）
午後1時30分～午後3時30分
会 場 シーパル大船渡大会議室
内 容 講話「子どもに対するアンガーマネジメントの手法」
講師 NEXT-STAGE代表
大高 智佳子 氏
対象者 子育て支援関係職員、子育て支援ボランティア従事者、未就学児の子育て家庭
参加費 無料
申込方法 2月26日（水）までに電話またはFAXで申込み（子育て家庭は飛び入り参加可能）
その他 子どもが遊べるスペースを設けます

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽に越しください

つどいの広場イベント日程（3月）

開催日	内 容	時 間
5日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午 午後1時～午後4時
12日(木)	かすみんの栄養相談会	午前10時～正午
	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
19日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時～正午

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日 午前10時～午後3時

職員募集(令和2年度採用)

下記のとおり職員を募集します。ハローワークまたは岩手県福祉人材センターからの紹介状と本会指定の履歴書を事務局まで持参又は郵送してください。(郵送の場合、返信用84円切手を同封)

試験日時 3月12日(木)

※時間は本会で指定

試験場所 大船渡市Y・Sセンター

試験内容 面接

申込締切 2月28日(金)午後5時15分

その他 採否は3月20日(金)までに応募者全員に通知。

常勤嘱託職員

(勤務時間:午前8時30分~午後5時15分)

職種	職務内容	賃金	応募資格	人数
介護支援専門員	ケアプラン作成など	160,000円~	介護支援専門員資格、パソコン、自動車	1人
訪問入浴介護員 兼訪問介護員	訪問入浴介護、訪問介護など	160,000円~	看護師または准看護師資格、パソコン、自動車	1人

パート

職種	職務内容	勤務時間(訪問件数)・勤務日数	時給	人数
プール監視員	プール監視、送迎車両運転業務	1日6時間、週4日	790円	1人
訪問入浴介護員	訪問入浴介護	1日3~4件、週2~3日	1,300円	1人

※応募資格: **パソコン**…ある程度のパソコン操作(ワード、エクセル)
自動車…普通自動車免許(AT限定可)

今月の表紙

千葉 勝太郎さん エツ子さん
恭 平さん 富士子さん
拓 斗くん 逢 里ちゃん
(14歳) (11歳)
(三陸町綾里在住)

勝太郎さん、恭平さんは卓球のコーチの傍らエツ子さん、逢里ちゃんとともに選手として。拓斗くんは野球部に所属するスポーツ一家。先日の公民館対抗のラージボール大会に勝太郎さん、恭平さん、エツ子さんが出席し3位になりました。



□3月号課題「捨てる」

□締め切り

3月5日(木)必着。

1人1句。

(自信作をひとつ)

はがき使用。

□投句先

立根町字下欠125-12

「Y・Sセンター」内

大船渡市

社会福祉協議会

「ふくし川柳」係

□その他

作品によっては、添削する場合もあ

ります。投句者の氏名にはフリガナをつ

けてください。

（評）大相撲はあまり見ない私だが、初場所だけは見てしまった。幕尻の徳勝龍が初優勝。ユーモアのあるコメントにも感動させられた。今後も「下剋上の時代」に期待をしたい。

認知症進む速度の早いこと
食進みこわごわと乗る体重計
被災地の父が進んで浜仕事
寝ても地球は回り進む老い

赤・吉田國子
佐々木敦子
大・立・田沢博昭
越・平田栄夫

佳作

幕尻の快進撃は下剋上

猪・村上達男

「ふくし川柳」

課題「進む」富谷英雄選

*その他

寄付・寄贈物品受入(1月)(敬称略)

福祉基金 今野陽子

共同募金 大船渡市農業協同組合、森の喫茶

店湖空、大船渡市身体障害者協会

(赤い羽根共同募金自動販売機寄付金)

歳末たすけあい募金 宮野西、宮野東

ホームページで社協活動を
日々更新中です。



<http://ofunato-shakyo.com>

輝き人

佐藤瑠奈さん(23歳)



赤崎町在住。平成29年4月より株式会社地域活性化総合研究所で研究員として勤務。子どもたちの可能性を引き出すことを通じ、地域の課題解決を後押ししている。

○未知の分野への挑戦

高校卒業後、東京の飲食業界で働いていましたが、大船渡に戻りたいという思いがありました。

大船渡に帰つて仕事を探していたとき、「人工知能（AI）が物事を分析・判断をするためのパターンデータを作成する仕事」に目が留まりました。

今までとは180度違う世界でしたが、せつかく挑戦するなら未知の領域に挑戦したいと思いまい、応募し採用されたのが現在の職場です。

きる人材育成」と「企業と連携した中学生に対するキャリア教育」の2つです。

最初は自分が企画した事業を実施する経験がなかったので不安でした。

しかし、事業を進めていく中で、教わったプログラミングを駆使し、子どもたちがゲームやロボットを楽しそうにつくっている姿や職場体験などを参考に自分の進路を決め、そこに向かう姿を見ていると、自分の仕事が大船渡のためになつていると実感することができました。

○大船渡への認識の変化

AI分析を中心にしていたのは数か月。今、主に取り組んでいることは大船渡という地域を活性化する地域コンサルティングです。

具体的には、「地域の課題をコンピューターやネットワーク技術を活用して解決する」とことで

○学びたいを実現したい

学生時代、「大船渡で自分が学びたいことを学べるなら都会に行かずに残りたいか」というアンケートを受けたことにありました。

そのときは、大船渡に残りたいと答えた反面、大船渡で自分が学びたいと思うことなんか学べないと思いました。

今、私がやつていることは、学生時代の私と同じように感じている子どもたちに、大船渡でも学びたいことを学べることを証明することもあります。

これからも子どもたちの将来への思いに触れながら、地域の人たけ、大船渡のため、そして一人ひとりの思い描く姿を実現するために頑張つていきたいです。

多くの企業と関わらせてもらつていくなからで、大船渡の魅力は「ない」のではなくて、自分は大船渡の魅力を知らなかつたんだということ気づきました。今は、前の自分よりもっと大船渡を自信を持つて伝えられる気がします。

一人ひとりの思い描く姿を実現するために